

鳥取大学大学院医学系研究科課程教育（博士課程、博士後期課程）に関する三つの基本方針

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士課程、博士後期課程では、学生が医学系研究科における学修と経験を通じて次を満たしたときに、博士の学位を授与します。

1. 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、査読付きの学術雑誌に掲載された博士論文の審査および試験に合格すること。
2. 医学研究者に求められる、医学、生命科学、遺伝子・再生医学、保健学の各専門分野における高い専門性と倫理観を備え、高度な課題発見・解決力およびコミュニケーション力を有していること。
3. 豊かで幅広い学識及び高度な自立した研究能力を持ち、国際的に活躍できる能力を身につけていること。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

博士課程、博士後期課程では、次の目標のもとに体系的な教育課程の編成と研究指導を実施します。

1. 教育課程・教育内容

医学、生命科学、遺伝子・再生医学、保健学の各専門分野における高い専門性を保持しながら、豊かで幅広い学識及び高度な自立した研究能力を身につけることができる、専門的、体系的な教育課程を構築します。

生命倫理観を備え、国際的に活躍できる能力を身につける機会を提供します。

2. 教育方法

講義、演習等を体系的に組み合わせた授業を通じて、卓越した知識・技能の効率的な修得を目指します。

専門性の高い複数の教員の研究指導により、高度な倫理観を備えたリサーチマインドを持つ自立した研究者・医療人の養成を行います。そのために専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を涵養します。

3. 学修成果の評価

所定の期間在学し、所定の単位を修得し、博士論文の審査および試験に合格することを条件に学位を授与します。その為に、研究科の定める成績評価基準に基づき、特論・演習について学修成果の評価を行います。特別研究に関しては、研究科の定める学位論文審査基準に基づき、査読付きの学術雑誌に掲載された博士論文の審査および試験を厳格に行います。

学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

○入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医学系研究科博士課程、博士後期課程では、倫理の深い知識を備え、医学、生命科学、遺伝子・再生医学、保健学に関する豊かで幅広い学識及び高度な研究能力、さらには国際的に活躍できる能力を身につけた、リサーチマインドを持つ自立した研究者・医療人を養成するために次のような人を受け入れます。

1. 専門分野において自ら課題を発見して解決するために必要な学力を備えている人
2. 研究に対して生命・医療倫理のもとに積極的に取り組む意欲をもっている人
3. 医学、生命科学、遺伝子・再生医学、保健学の先端研究に取り組み、コミュニケーション力を持って国際的発展に貢献する志のある人

医学系研究科では、こうした入学者を国内外から受け入れるために、博士課程、博士後期課程は、各専攻において実施する入試方法によりその適性を確認します。